

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第44週（10月30日～11月5日）

インフルエンザ予防接種について！

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められており、ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われていています。予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

★お知らせ

○RSウイルス感染症に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第43週の3.33から第44週では1.60と急減しています。中央東、中央西で急減、幡多、高知市、須崎では減少しています。

また、定点医療機関からのホット情報でもRSウイルス感染症の報告があがっているので注意して下さい。

この病気は軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。特に、低出生体重児や心臓や肺に基礎疾患がある場合、神経や筋肉の疾患がある場合、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高まります。一方で、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があるため注意が必要です。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

予防接種ワクチンはなく、患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。

- 厚生労働省 「RSウイルス感染症 Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

- 国立感染症研究所 「注目すべき感染症 RSウイルス感染症」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/541-disease-based/alphabet/respiratory-syncytial/ids/idsr-topic/7509-idsr-1734.html>

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第43週の3.47から第44週では2.23と減少しています。県全域から報告があり、幡多、中央西で急減、高知市で減少していますが、安芸で急増しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが6例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌を原因とする胃腸炎3例の報告もあります。

また、学校等欠席者・感染症情報システム※でも5例の報告があることから引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが1年を通して発生しています。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）調理をする場合は、十分加熱（85℃で1分以上）しましょう。

- 厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○百日咳に気を付けて！

第44週の定点医療機関からの報告数は0.03と急増し、須崎では注意報値を超えています。

また、学校等欠席者・感染症情報システム※でも1例の報告があることから注意が必要です。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。また、成人が感染した場合は、通常咳が長期にわたって持続するものの、典型的な発作性の咳嗽を示すことはなく、やがて回復に向かいます。軽症で感冒など他の疾患との鑑別が困難であり、菌の排出があるためワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要です。

感染予防にはワクチン接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○咽頭結膜熱に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第43週の0.03から第44週では0.17と急増しています。中央東で急減していますが、須崎、幡多、高知市で急増し、須崎では注意報値を超えています。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便からSFTSウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトがSFTSを発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間	12歳未満は 使用禁止	
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

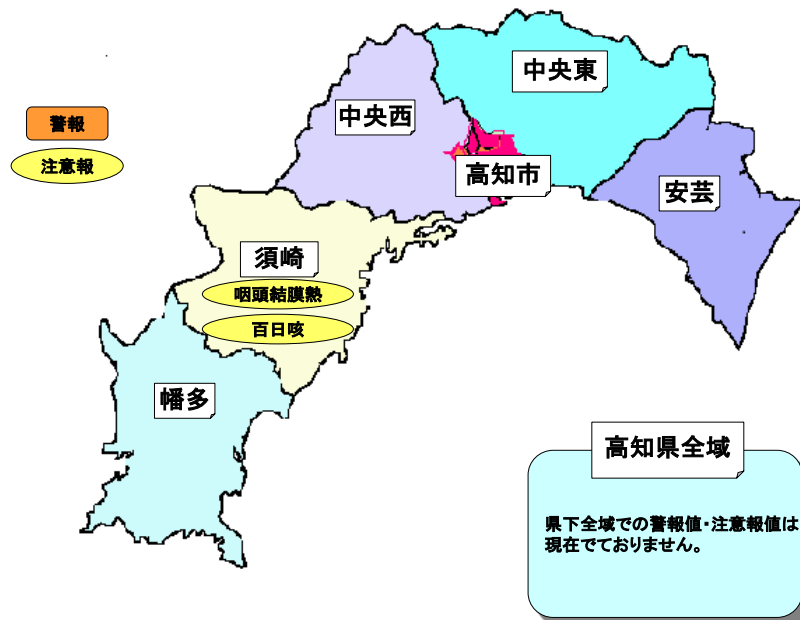
※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↘	2. 2 3	幡多、中央西で急減、県全域、高知市で減少していますが、安芸で急増しています。
RS ウイルス感染症	↓	1. 6 0	県全域、中央東、中央西で急減、幡多、高知市、須崎で減少しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1. 2 7	須崎で急減、高知市、幡多で減少していますが、安芸、中央西で急増しています。
手足口病	→	0. 9 0	幡多で急減、中央東で減少しています。
水痘	→	0. 4 3	中央西、幡多で急減、須崎で減少していますが、高知市で急増しています。

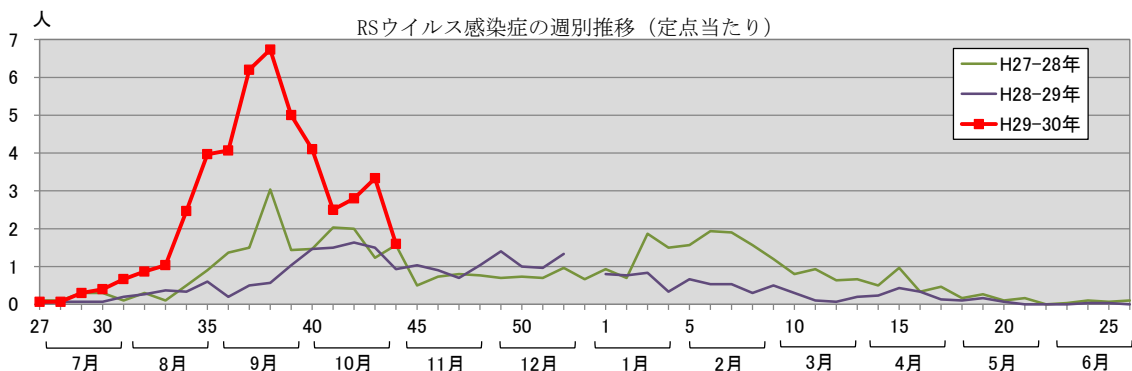
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

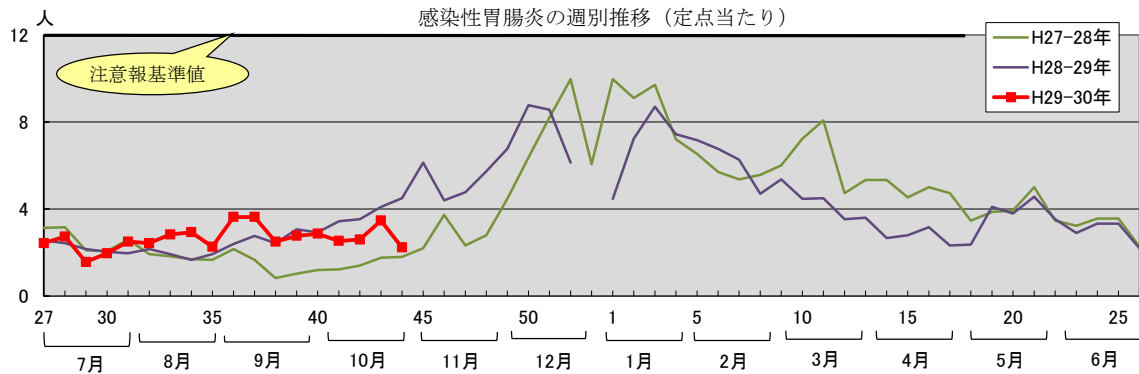
○RSウイルス感染症 第44週：1.60（注意報値：－ 警報値：－）

定点医療機関からの報告数は定点あたり 1.60（前週：3.33）と急減しています。中央東 1.14（前週：2.86）中央西 0.33（前週：2.67）で急減、幡多 2.40（前週：4.40）高知市 2.09（前週：3.91）須崎 2.00（前週：3.50）で減少しています。



○感染性胃腸炎 第44週：2.23（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.23（前週：3.47）と減少しています。幡多 4.20（前週：8.40）中央西 0.67（前週：2.00）で急減、高知市 2.45（前週：3.73）で減少していますが、安芸 2.50（前週：1.00）で急増しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

前週記載した第42週に中央東から搬入された臨床診断名が感染性胃腸炎4ヶ月女の検出状況について誤りがありました。

(誤)

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
42	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	4ヶ月	女	中央東	Parainfluenza virus 1

↓

(正)

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
42	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	4ヶ月	女	中央東	Parecho virus 1

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
4類	レジオネラ症	1	6	50歳代 男	高知市
		1		70歳代 男	幡多
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	40歳代 女	中央東

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (2 ヶ月男) ノロウイルス感染症 1 例 (2 歳男) ヘルペス歯肉口内炎 1 例 (1 歳男) 溶連菌感染症増加 (5~12 歳)
	高知大学医学部付属病院小児科	RS 細気管支炎 1 例 (週齢 2 週)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 3 例 (3 ヶ月男女、11 ヶ月男) アデノウイルス 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症と溶連菌感染症同時感染 1 例 (3 歳男) 溶連菌感染症 8 例 手足口病 6 例 ヘルパンギーナ 1 例 帯状疱疹 1 例 (15 歳女) 水痘 1 例 (7 歳男：ワクチン未接種)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (0 歳) カンピロバクター+病原性大腸菌 O-6 腸炎 1 例 (1 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 1 例 (20 歳)
	細木病院小児科	ノロウイルス 5 例 (1 歳男女、2 歳女 2 人、4 歳男)
須崎	もりはた小児科	RS ウイルス感染 3 例 水痘 4 例 (6 歳男：ワクチン 1 回済み) マイコプラズマ肺炎 2 例 (10 歳女) 43W 百日咳 1 例 (17 歳女：LAMP 法 (+))
幡多	さたけ小児科	RS ウイルス 8 例 (0 歳、1 歳 4 人、2 歳 2 人、3 歳) 感染性胃腸炎 15 例

★全国情報

第 42 号 (10 月 16 日~10 月 22 日)

1 類感染症：報告なし

2 類感染症：結核 400 例

3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 69 例、腸チフス 2 例

4 類感染症：E 型肝炎 5 例、A 型肝炎 6 例、重症熱性血小板減少症候群 2 例、つつが虫病 2 例、デング熱 8 例
日本紅斑熱 10 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 35 例、レプトスピラ症 2 例

5 類感染症：アメーバ赤痢 12 例、ウイルス性肝炎 2 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 28 例
急性脳炎 1 例、クリプトスポリジウム症 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 11 例、後天性免疫不全症候群 23 例、ジアルジア症 1 例
侵襲性インフルエンザ菌感染症 3 例、侵襲性肺炎球菌感染症 24 例、水痘 (入院例に限る) 2 例
梅毒 61 例、破傷風 2 例、麻しん 2 例

削除予定：バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例

報告遅れ：E 型肝炎 1 例、日本紅斑熱 4 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 3 例
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 13 例、急性脳炎 3 例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、水痘 (入院例に限る) 2 例、梅毒 41 例、
播種性クリプトコックス症 1 例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第44週 平成29年10月30日(月)～平成29年11月5日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第44週							計	前週	全国(43週)	高知県(44週未累計) H29/1/2～H29/11/5	全国(43週未累計) H29/1/2～H29/10/29
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ	インフルエンザ								(0.00)	(0.00)	1,772 (0.36)	14,652 (305.25)	1,375,399 (278.36)	
小児科	咽頭結膜熱				2			2	1	5 (0.17)	1 (0.03)	1,687 (0.53)	368 (12.27)	72,186 (22.87)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	3	23	2	2	2	2	38 (1.27)	42 (1.40)	6,204 (1.97)	2,204 (73.47)	292,558 (92.70)	
	感染性胃腸炎	5	11	27	2	1	21	67 (2.23)	104 (3.47)	11,455 (3.63)	4,897 (163.23)	690,305 (218.73)		
	水痘			9				4	13 (0.43)	11 (0.37)	924 (0.29)	509 (16.97)	45,121 (14.30)	
	手足口病		3	21	2			1	27 (0.90)	29 (0.97)	6,522 (2.07)	3,207 (106.90)	329,375 (104.36)	
	伝染性紅斑							1	1 (0.03)	(0.00)	219 (0.07)	110 (3.67)	10,275 (3.26)	
	突発性発疹		3	4			1	1	9 (0.30)	17 (0.57)	1,373 (0.44)	469 (15.63)	61,712 (19.55)	
	百日咳							1	1 (0.03)	(0.00)	49 (0.02)	25 (0.83)	1,336 (0.42)	
	ヘルパンギーナ	1	2	5	1				9 (0.30)	13 (0.43)	1,258 (0.40)	555 (18.50)	81,507 (25.83)	
	流行性耳下腺炎			2					2 (0.07)	1 (0.03)	982 (0.31)	187 (6.23)	69,566 (22.04)	
RSウイルス感染症		8	23	1	4	12	48 (1.60)	100 (3.33)	4,083 (1.29)	1,609 (53.63)	117,324 (37.17)			
眼科	急性出血性結膜炎								(0.00)	(0.00)	6 (0.01)	(0.00)	361 (0.52)	
	流行性角結膜炎			1					1 (0.33)	1 (0.33)	517 (0.74)	15 (5.00)	21,682 (31.24)	
基幹	細菌性髄膜炎		1						1 (0.13)	(0.00)	7 (0.01)	4 (0.50)	432 (0.91)	
	無菌性髄膜炎								()	(0.00)	17 (0.04)	7 (0.88)	820 (1.72)	
	マイコプラズマ肺炎								()	3 (0.38)	153 (0.32)	79 (9.88)	6,579 (13.79)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	1 (0.13)	7 (0.01)	11 (1.38)	221 (0.46)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								()	(0.00)	5 (0.01)	87 (10.88)	4,878 (10.23)	
計	(小児科定点当たり人数)	12 (6.00)	31 (4.29)	117 (10.53)	8 (2.67)	15 (7.50)	39 (7.80)	222 (7.33)			37,240	28,995 (776.58)	3,181,637	
前週	(小児科定点当たり人数)	4 (2.00)	47 (6.71)	158 (14.10)	21 (7.00)	17 (8.50)	76 (14.80)		323 (10.60)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第44週							計	前週	全国(43週)	高知県(44週未累計) H29/1/2～H29/11/5	全国(43週未累計) H29/1/2～H29/10/29
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ	インフルエンザ								0.00	0.00	0.36	305.25	278.36	
小児科	咽頭結膜熱				0.18			1.00	0.20	0.17	0.03	0.53	12.27	22.87
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	0.43	2.09	0.67	1.00	0.40	0.40	1.27	1.40	1.97	73.47	92.70	
	感染性胃腸炎	2.50	1.57	2.45	0.67	0.50	4.20	2.23	3.47	3.63	163.23	218.73		
	水痘			0.82				2.00	0.43	0.37	0.29	16.97	14.30	
	手足口病		0.43	1.91	0.67			0.20	0.90	0.97	2.07	106.90	104.36	
	伝染性紅斑							0.20	0.03	0.00	0.07	3.67	3.26	
	突発性発疹		0.43	0.36			0.50	0.20	0.30	0.57	0.44	15.63	19.55	
	百日咳						0.50		0.03	0.00	0.02	0.83	0.42	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.29	0.45	0.33				0.30	0.43	0.40	18.50	25.83	
	流行性耳下腺炎			0.18					0.07	0.03	0.31	6.23	22.04	
RSウイルス感染症		1.14	2.09	0.33	2.00	2.40	1.60	3.33	1.29	53.63	37.17			
眼科	急性出血性結膜炎								0.00	0.00	0.01	0.00	0.52	
	流行性角結膜炎			1.00					0.33	0.33	0.74	5.00	31.24	
基幹	細菌性髄膜炎		1.00						0.13	0.00	0.01	0.50	0.91	
	無菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.04	0.88	1.72	
	マイコプラズマ肺炎								0.00	0.38	0.32	9.88	13.79	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.00	0.13	0.01	1.38	0.46	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								0.00	0.00	0.01	10.88	10.23	
計	(小児科定点当たり人数)	6.00	4.29	10.53	2.67	7.50	7.80	7.33				776.58		
前週	(小児科定点当たり人数)	2.00	6.71	14.10	7.00	8.50	14.80		10.60					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2017年11月6日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。